

社会資本総合整備計画													防災・安全交付金		令和03年01月08日	
計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）															
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	尾道市															
計画の目標	安定した公共用水域の水質確保のため、ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の改築を行う。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		3,274	A	3,274	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	ストックマネジメント計画に基づいた処理場・ポンプ場の改築を0%（R3当初）から100%（R7末）に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた処理場・ポンプ場の改築の進捗率	0%	43%	100%
	改築済の施設数（箇所）/ストックマネジメント計画に基づき改築する施設数（23箇所）			
2	ストックマネジメント計画に基づいた管渠の調査を0%（R3当初）から100%（R7末）に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた管渠の調査の進捗率	0%	80%	100%
	調査済の管渠延長（m）/ストックマネジメント計画に基づき調査する管渠の延長（8,768m）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処 理場	改築	施設ストックマネジメン ト	尾道市浄化センター他5箇所 改築 機械電気設備等	尾道市	■	■	■	■	■	2,530		策定済	
		ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	管渠（ 汚水）	改築	管渠ストックマネジメン ト	管渠・マンホールの点検・調 査	尾道市	■	■	■	■	■	194		策定済	
		ストックマネジメント計画																		
	A07-003	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	管渠（ 汚水）	新設	久保圧送幹線汚水輸送シ ステム	圧送管2条化 管渠新設（φ3 50）	尾道市	■	■	■	■	■	248		－	
	A07-004	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	ポンプ 場	－	久保ポンプ場耐震・耐津 波	久保ポンプ場耐震化 建築等	尾道市	■	■	■	■	■	302		－	
											小計							3,274		
											合計							3,274		

交付金の執行状況

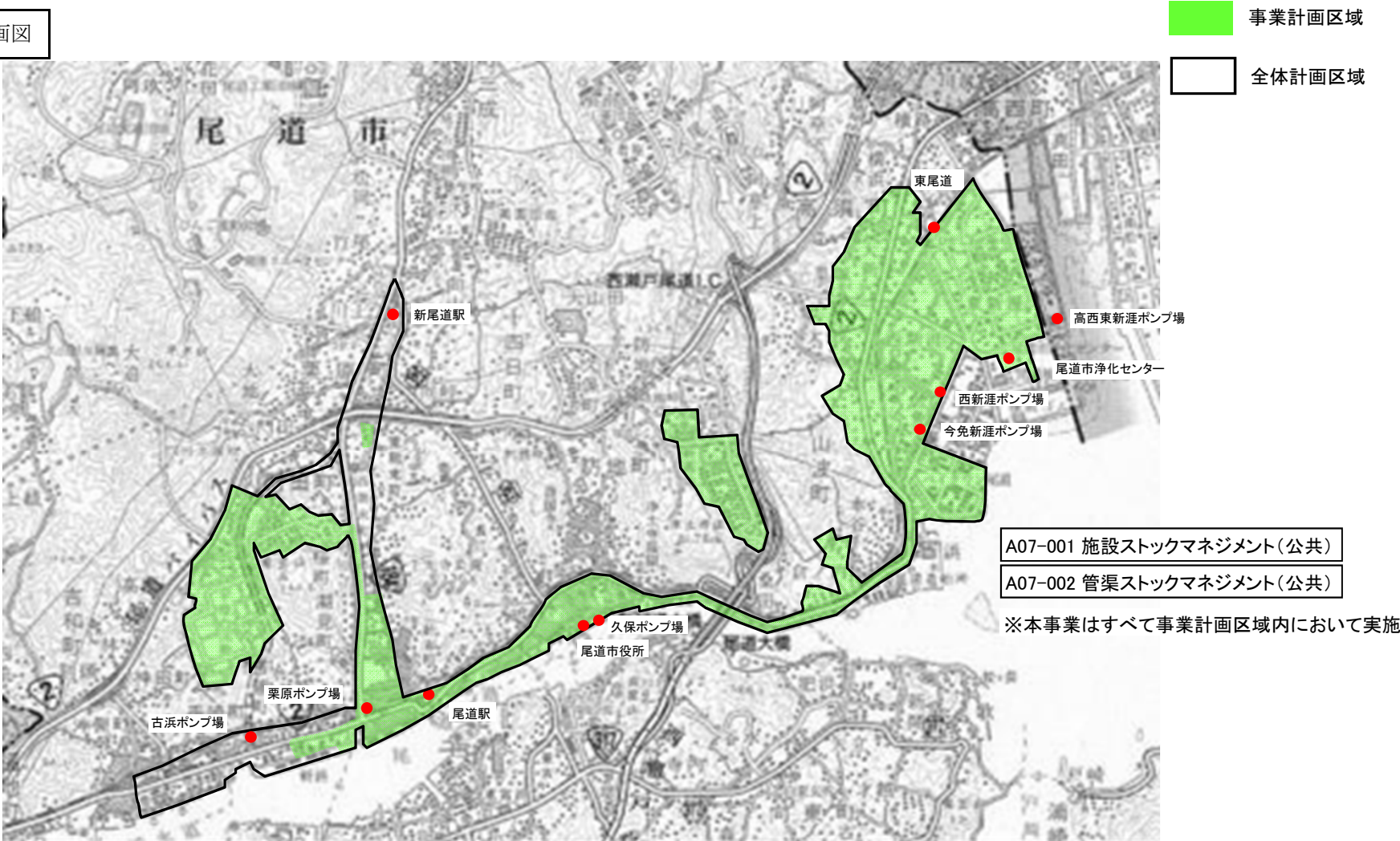
(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	56	109	307	249	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	56	109	307	249	
前年度からの繰越額 (d)	0	8	98	149	
支払済額 (e)	48	19	256	215	
翌年度繰越額 (f)	8	98	149	183	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画

計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)	交付対象	尾道市

尾道処理区計画図



事前評価チェックシート

計画の名称： 尾道市公共下水道（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 事業による目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○